

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	森の図書館ESCO事業				会計	款	項	目	大事	小事
政策	O3	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館	01	10	05	07	03	53
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進	主管課長	小栗 信一郎						

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	森の図書館利用者 (市外も含む)	意図	満足のいく図書館サービスを受けられるようにする。
事業内容		平成7年度竣工の森の図書館は、空調設備、照明設備の劣化が進んでいたことから、更新をESCO事業により行い空調、照明の所有権を民間事業者に移転する。これによって、指定管理者が運営に専念できる環境を整え環境負荷の低減・更新コストや光熱水費の削減・市民サービスの向上を図る。		
事業開始から現在までの状況変化		事業開始は、平成28年度からであり、1年目であったが光熱水費の削減保証額には、僅かに達しなかったものの、環境負荷の低減・更新コスト及び光熱水費の削減に大きく寄与した。		

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	① 削減検証額			2,088,828	円	↑↑↑	
	② 年間光熱水費	5,723,334	4,479,465	2,882,593	円	↓↓↓	消費税抜きの光熱水費
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度			平成27年度にESCO事業により工事を実施し、平成28年度からサービスが開始されたところである。	
事務事業の総コスト(a=b+c)			9,690,284			削減保証額2,334,000円に対し、削減検証額2,255,934円となり、78,066円を事業者が負担することとなりました。	
事業費（b）（円）			6,089,934				
うち一般財源			6,089,934				
職員給与費（c）（円）			3,600,350				
人役・職員（人）			0.50				
人役・再任用（人）							
人役・臨職（人）			0.15				
人役・嘱託（人）							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価 必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
	市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）				

(2) 事務事業の業務改善について

① 今年度(H28)の改善計画	ESCO事業により空調設備、照明設備の更新コストを軽減するとともに、環境負荷の低減、光熱水費の削減を行う。	③ 取組の課題	空調設備、照明設備の季節に応じたきめ細やかな運用が求められる。
② 今年度(H28)に実施した取組	空調設備、照明設備の所有権を民間事業者に移転したことにより、指定管理者の維持管理業務が減り運営に専念できることとなった。	④ 今後の改善計画	事業導入初年度において削減保証額に達成しなかったことから、原因を分析をし、今後の運用に活かしたい。